

目的

「従業員が効率的に仕事を進めること」を評価するなどの仕事と生活の調和の取組を企業等に促し、男性の家事・育児等への参画を推進する。

- 女性の活躍を進めるためには、男性の家事・育児等への参画が不可欠であるが、未だ十分とは言えない状況。
※6歳未満の子供を持つ夫の家事・育児の行動者率は上昇しているが、共働き世帯でも、約8割が家事を行わず、約7割が育児を行っていない。
- その原因として、男性の「長時間労働」などが挙げられる。
※週労働時間60時間以上の男性就業者の割合は、長期的には減少傾向にあるが、依然として30歳代で16.0%、40歳代で16.6%(2015)と高水準。

事業の概要

仕事と生活の調和(男性の家事・育児等への参画)に向けた社内制度等に関する調査研究

1,000社への郵送調査 + うち15社への訪問調査

= 従業員の「仕事の成果」に加えて「効率性」も評価するなどの取組※

※ 従業員が効率的に仕事を進めるためのマネジメントを行う管理職を評価する取組を含む

+ 生み出された時間で家事・育児等に参画している男性の取組事例

→ 好事例から制度の特性や手法を分析(企画委員会を設置)

→ 主に経営者や管理職、人事担当者等向けの 啓発ツール(事例集)を作成

教材として
使用

トップセミナー

経営者や管理職を対象とした
セミナーを経済団体と共催。

周知・提供

地方自治体等

掲載・広報

ホームページ

